

明日の『あたりまえ』を創り続ける

大きく変化する時代だからこそ、今日の暮らしの「あたりまえ」に心を尽くし、明日の笑顔へ寄り添い続けます。

VISION

Become an innovator to achieve SDGs

アステナグループの将来のありたい姿は、SDGsの実現を担うイノベーターとなることです。持続可能な社会の実現のために、解決すべき様々な課題に関して、アステナグループならではの経験と強みを活かして積極果敢に取り組んでまいります。

MISSION

Keep being the most trusted by multi-stakeholders

アステナグループの果たすべき役割は、全てのステークホルダーに最も信頼される存在であり続けることです。私たちが提供する商品・サービスを通じて、お取引先様と共存共栄することで株主様の利益拡大に寄与するとともに、地域社会、社員その他すべてのステークホルダーへの責任を果たし続けることを経営の基本方針としております。

CORE VALUES

Safety and Health + Environment + Ethics and Goodwill

アステナグループの共通の価値観は、安全と健康の保証、環境の保全と改善、法の遵守と個人を尊重し、常に社会の良いメンバーとなるよう努めることです。

SPIRIT

Integrity, Confidence, Contribution, Change, Cooperation

アステナグループのSPIRITは、私たちは何を基準にして、どのように行動していくのかという問いに答えるものです。私たちのMISSIONを体現するため「誠実」「信用」「貢献」「変革」「連携」を社員が共有・実践すべき行動指針としています。



イントロダクション

これまでの歩み

当社グループは、「誠実・信用・貢献」という基本的理念のもと、仕入先様とお客さまをマッチングさせるビジネスを100年間展開してまいりました。次の100年、次の世紀に向けて、新たな「誠実・信用・貢献」を築くことで多様化するステークホルダーに対応し、再成長に向けたギアを入れ直します。

基本的理念

誠実・信用・貢献

「お取引先様を最優先に思う心を常に忘れない会社」を目指して

当社グループは「誠実・信用・貢献」を基本的理念として「お取引先様を最優先に思う心を常に忘れない会社」を目指し、提供する商品・サービスを通じてお取引先様と共存共栄することで株主様の利益拡大に寄与するとともに、社会その他すべてのステークホルダーへの責任を果たし続けることを経営の基本方針としております。

1914-

1950-

1965-

1992-

2021-

● 信頼関係の構築

業種問屋「岩城市太郎商店」を日本橋本町で創業。「誠実・信用・貢献」を信条として、多くのお客さま・お取引先様との関係を築く。

1914年 岩城市太郎商店
業種問屋として創業



創業者 岩城市太郎
(明治23年～昭和37年)

1933年 岩城製薬所 蒲田工場設立

1941年 法人組織として「株式会社
岩城商店」に改称

1948年 ▶ 岩城製薬所を「岩城製薬
株式会社」に改称
▶ 岩城市太郎 社長就任

● 品揃えの拡大

戦地から帰国した2代目社長・岩城謙太郎のイニシアチブのもと、戦後復興需要に応えるため国外メーカーとの仕入れ取引を拡大。

1950年 輸入医薬品原料取扱開始

1951年 化学品取扱開始

1959年 食品原料取扱開始

1962年 岩城謙太郎 社長就任

1963年 ▶ 「イワキ株式会社」へ改称
▶ 東京証券取引所
第二部へ上場



創業50周年記念祝賀会

● 多角化の推進

医薬品の問屋商社業を基本ビジネスとしながら、化粧品・機能性食品・化学品などの産業へ多角化。

1965年 ▶ ポーエン化成へ資本参加
▶ 食品原料の製造開始

1981年 機能性食品取扱開始

1986年 ジャパンメタル
フィニッシングを
「メルテックス株式会社」
へ改称

1989年 イワキ 本社ビル竣工



現在の本社ビル

● 社会的責任を果たす企業へ

東京証券取引所第一部に指定され、上場会社としての規範や社会的責任を果たす体制を構築。

1994年 岩城謙太郎 会長就任、岩城修 社長就任

2000年 アプロス設立 化粧品製造販売開始

2005年 東京証券取引所 第一部指定

2011年 メルテックス グループ会社化

2012年 メルテックスアジアタイランド設立、海外生産開始

2014年 創業100周年

2017年 岩城修 会長就任、
岩城慶太郎 社長就任

2020年 ▶ スペラファーマ、
岩城製薬佐倉工場、
マルマンH&B
グループ会社化
▶ スペラネクス設立



創業100周年感謝の会

● サステナビリティの推進

2021年6月の持株会社体制への移行を機に、イワキ株式会社からアステナホールディングス株式会社へ社名を変更。産業・技術・社会のサステナビリティを高めることを基本戦略とする企業集団となる。

2021年 ▶ 旧イワキを「アステナホールディングス株式会社」へ商号変更、持株会社化
▶ 本社機能一部を石川県珠洲市に移転
▶ イワキ総合研究所を「アステナミネルヴァ株式会社」へ商号変更
▶ JITSUBOグループ会社化
▶ アステナハートフル設立
▶ のとSDGsファンドへ出資

2022年 ▶ 東京証券取引所 プライム市場へ移行
▶ アインズラボ グループ会社化
▶ PICTURE設立

2023年 ▶ NAIA設立
▶ TUATファンドへ出資

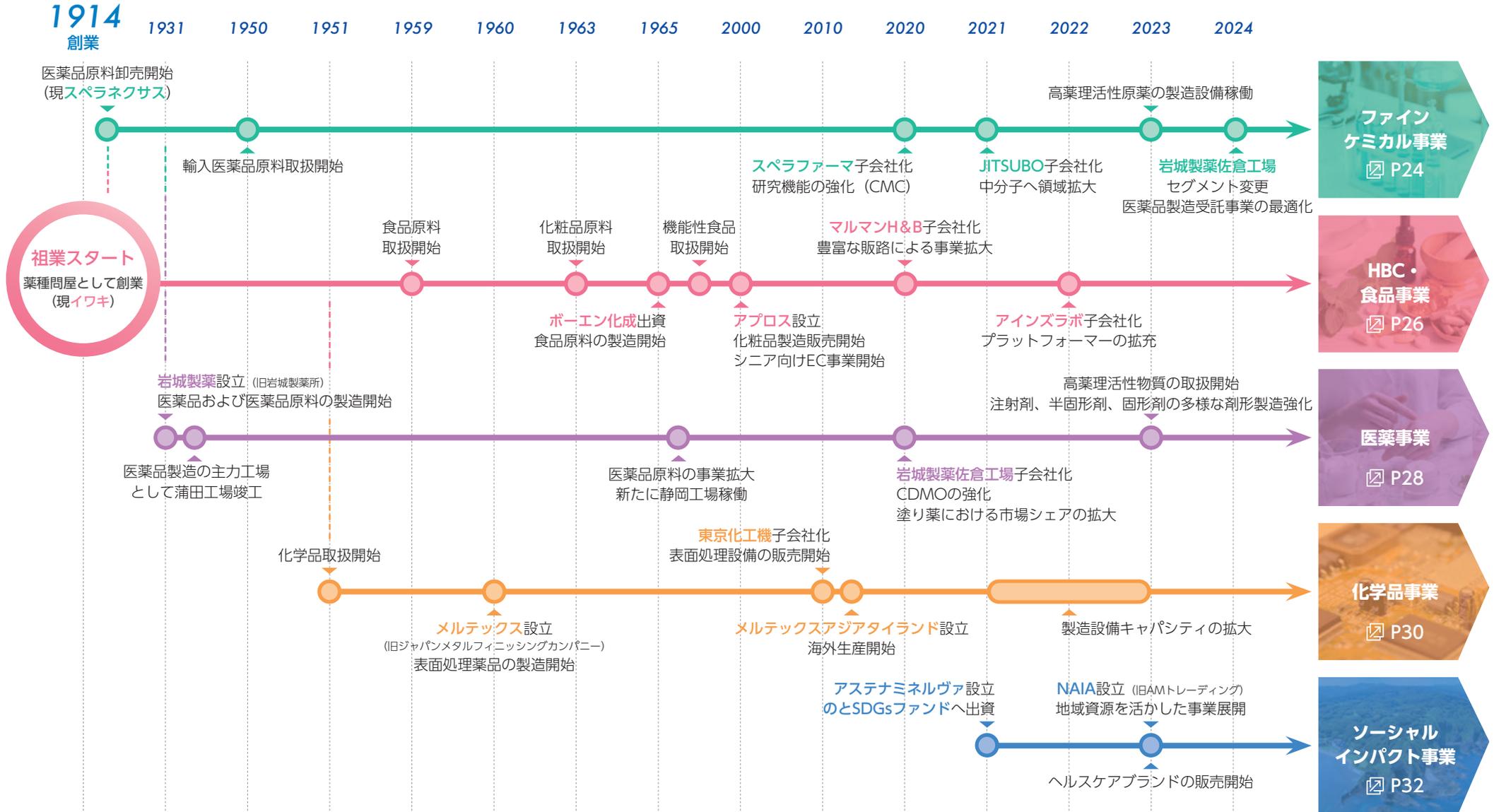
2024年 瀬戸口智 社長就任

2025年 ▶ 創業111周年
▶ パーパス策定



代表取締役社 瀬戸口智

イントロダクション 各事業の沿革



イントロダクション

事業ポートフォリオ

ソーシャルインパクト事業

詳細は [図 P32](#)

0.3 億円 前期比+**0.2** 億円

地域社会と協力関係を築き、地域資源を発掘し、そこから社会課題の解決を目指す事業です。



ヘルスケア商品



農産物



ふるさと納税サービス

化学品事業

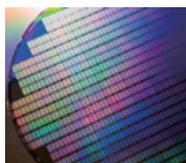
詳細は [図 P30](#)

101.9 億円 前期比+**16.0** 億円

表面処理薬品の先端を目指して研究開発や新しい製造方法の開発に注力している事業です。



表面処理薬品



表面処理設備

医薬事業

詳細は [図 P28](#)

114.6 億円 前期比+**20.1** 億円

医薬品や化粧品の開発・製造・販売を行い、人々の皮膚の健康維持に貢献している事業です。



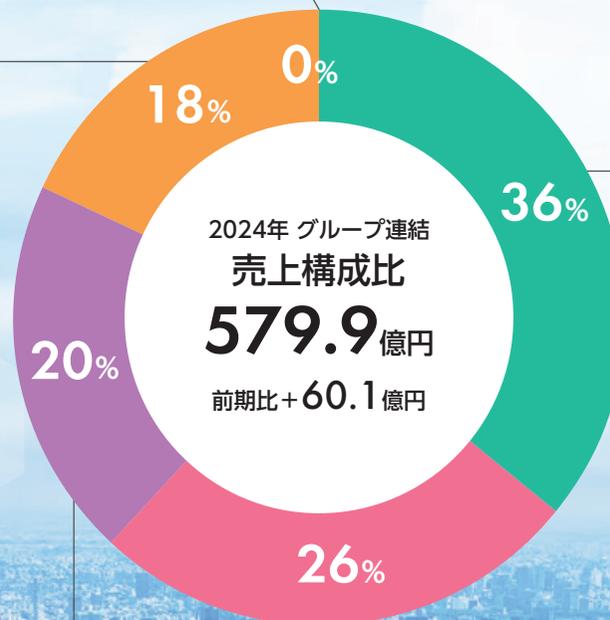
医療用医薬品



医療機関専売化粧品



一般用医薬品



ファインケミカル事業

詳細は [図 P24](#)

211.2 億円 前期比+**12.7** 億円

原材料調達からCMC研究開発、商用原薬生産から商用製剤製造まで幅広く展開している事業です。



医薬品原料



錠剤



注射剤

HBC・食品事業

詳細は [図 P26](#)

151.6 億円 前期比+**11.1** 億円

ヘルス&ビューティーケア、食品に関わる原料から製品まで幅広く提供している事業です。



機能的食品原料



化粧品



化粧品原料

イントロダクション

At a Glance (数字で見るアステナグループ)

高い技術力、テクノロジーやネットワークを駆使し、お客様の課題解決を目指している当社グループの「今」をご紹介します。

収益性

売上高

579.9 億円

営業利益

28.1 億円



拠点数

日本

27 拠点



海外

6 拠点



外部評価・イニシアチブへの参画



国際環境非営利団体「CDP (カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)」が実施する気候変動に関する調査にて気候変動Cスコア、水セキュリティDスコア評価を獲得



経済産業省と日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定



TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) の提言に賛同し、ガバナンス、リスク管理、戦略、指標と目標に合わせて開示を強化

創業

1914 年



製造拠点

10 拠点



有給休暇取得率

69.4 %



育児休暇取得率

47.1 %



連結子会社

23 社



研究員

約 **400** 名



従業員

1,420 名



社外取締役比率

57.1 %



イントロダクション

目指す未来

当社グループは、3つのサステナビリティ戦略を基軸に、定量・定性のターゲットを明確に定めております。また、これらの戦略を着実に実行に移すため、3年ごとに中期経営計画を策定し、2030年に目指す未来の実現を推進しています。

Astena 2030 “Diversify for Tomorrow.”

基本戦略

- プラットフォーム事業への転換
- ニッチトップ事業の磨き上げ
- 新規事業への投資と育成

定量的ターゲット

- 連結売上高：1,300億円以上*
- ※収益認識会計基準適用前ベース。適用後ベースでは約900億円以上に相当
- ROE：13%以上

定性的ターゲット

- ① 業界の一択へ
- ② ESG経営による持続的な成長基盤を確立する
- ③ 事業を自ら率先する「アステナらしさ」の体現

パーパス

明日の『あたりまえ』を創り続ける

企業理念

VISION

MISSION

CORE VALUE

SPIRIT

110年にわたり
積み重ねた実績

創業者から脈々と
受け継いだSPIRIT

3カ年
中期経営計画

プラットフォーム
戦略

ファイン
ケミカル
事業

HBC・食品
事業

ニッチ
トップ
戦略

医薬事業

化学品事業

ソーシャル
インパクト
戦略

ソーシャル
インパクト
事業

	FY2023 実績	FY2024 実績	FY2025 予想	FY2027 目標
売上高 (億円)	519.8	579.9	630.0	700.0
営業利益 (億円)	11.2	28.1	26.0	35.0
ROE (%)	4.2	△9.4	5.9	8.8

イントロダクション

発行にあたって / Contents

発行にあたって

本統合報告書は、当社グループの価値創造ストーリーへのご理解を深めていただけるよう、ステークホルダーの皆様との対話を意識して構成しております。中長期ビジョン「Astena 2030」に基づく戦略の進捗や、経営資源の活用状況、サステナビリティへの取り組みを、財務・非財務の両面から統合的に開示しております。特に本年は、価値の再分配、社会的インパクト、経営の透明性といったテーマに対し、より踏み込んだ情報開示を行っております。当社グループの現在地と未来への方向性をご理解いただく一助となれば幸いです。当社WEBサイトでは、会社概要や商品・サービス、各事業会社のホームページリンク等をご紹介します。あわせてご覧ください。

<https://www.astena-hd.com/>

統合報告書2025のポイント

Point 1

人的資本経営の深化と未来志向の基盤構築

新経営体制2年目を迎え、経営の軸を「人」へと本格転換。“付加価値の適正分配経営”を新たな指標として導入し、企業パーパスの策定にも着手。「人に投資する経営」と「中長期的な価値創造」の両輪を本格始動いたしました。

人的資本 P36 ▶

Point 2

価値創造プロセスの再構築と、“インパクト”起点の事業戦略

事業活動全体を貫く価値創造の考え方をアップデートし、社会課題解決と経済的リタンの両立を図る“インパクトコンセプト”を策定。社会インパクトモデルを組み込み、「社会とともに発展する企業像」を明確に提示しております。

インパクトコンセプト P34 ▶

Point 3

多様な視点と対話で進化する経営ガバナンス

専門性と経験をもつ社外取締役との座談会を開催し、対話型ガバナンスを推進。多様な視点を取り入れることで経営判断の質を高め、持続的成長に向けた基盤を強化しております。

社外取締役座談会 P54 ▶

Contents

イントロダクション

- 01 企業理念
- 02 これまでの歩み
- 03 各事業の沿革
- 04 事業ポートフォリオ
- 05 At a Glance
- 06 目指す未来
- 07 発行にあたって / Contents

価値創造の基盤

- 36 人的資本
- 43 製造資本
- 46 知的資本
- 48 社会関係資本
- 49 自然資本
- 52 生物多様性の取り組み
地域とともに育む、未来へつながる有機農業
— 珠洲オーガニックビレッジ×アステナグループ —

アステナグループの価値創造

- 09 トップメッセージ
- 14 価値創造プロセス
- 15 価値創造プロセスの詳細
- 16 サステナビリティマネジメント
- 17 サステナビリティ責任者メッセージ
- 18 アステナグループのマテリアリティ

ガバナンス

- 54 社外取締役座談会
- 58 コーポレート・ガバナンス
- 70 コンプライアンス・リスクマネジメント
- 71 情報セキュリティ

アステナグループの戦略

- 20 中長期ビジョンと3ヵ年中期経営計画
- 21 財務戦略
- 23 セグメント概況
- 24 ファインケミカル事業
- 26 HBC・食品事業
- 28 医薬事業
- 30 化学品事業
- 32 ソーシャルインパクト事業
- 34 インパクトコンセプト

データセクション

- 73 財務ハイライト
- 74 非財務ハイライト
- 75 会社概要 / ネットワーク
- 76 株式の状況
- 77 編集方針・開示情報の位置づけ
- 78 用語集

表紙について

表紙デザインは、1人の女性の1日を通して、当社グループの価値が自然に溶け込み、日常を豊かで幸せなものにしていく様子を表現しております。



当社グループの製品・サービスが、これからも皆様の日々の生活にそっと寄り添い、安心や快適を届ける存在となれるようお願いが込められております。

ページジャンプ機能

Contents (当ページ) より閲覧したいページをクリックしますと該当ページまで移動します。また、各ページの右上にセクションごとのリンクを設けております。是非ご利用ください。



- ① 該当のセクションにジャンプいたします。
- ② 統合報告書のトップに戻ります。
- ③ Contentsページにジャンプいたします。